

パトライト社製品との連携

連携製品：「NH-FV1 シリーズ」

ゾーホージャパン株式会社

本ドキュメントでは、ManageEngine OpManager とパトライト社「NH-FV1 シリーズ」との連携手順についてご説明します。NH-FV1 シリーズでは、RSH または PRSH コマンドの実行により制御を行うことが可能です。

【NH-FV1 シリーズ側の設定】

- (1)NH-FV1 シリーズ管理画面にログインします。
- (2)画面左側の「コマンド受信設定」リンクをクリックします。
- (3)RSH サーバ設定画面が表示されます。
- (4)RSH サーバ機能が有効になっていることを確認します。
- (5)接続許可制限欄にて、RSH コマンド実行の送信元 IP アドレスと RSH コマンドのオプションで必要になる任意のログイン名(root など)を設定します。

【OpManager 側の設定】

- (6)RSH.exe を OpManager インストールフォルダ直下に配置します。(PRSH をインストールしている場合には不要)
- (7)OpManager にログインします。
- (8)管理タブをクリックします。
- (9)共通設定欄(画面左側)の「通知プロファイル」リンクをクリックします。
- (10)新規追加欄(画面右側)の「プログラム実行」リンクをクリックします。

通知プロファイルの設定

プロファイル名	Profile1
システムコマンドプロパティ	
コマンド	rsh
プログラム引数	192.168.10.1 -l root alert 199999
	...select argument variables...
テストアクション	保存 取消

図：[管理]-[通知プロファイル]-[プログラム実行]画面

(11)プロファイル詳細設定欄にて次の設定を行います。

項目	設定内容
プロファイル名	適切なプロファイル名を入力します
コマンド	RSH を入力します。(PRSH をインストールしている場合には PRSH を入力します。)
プログラム引数	「(5)の IP アドレス -l (5)のログイン名 alert オプション 秒数」

(alert 用のオプション[形式 : rygbcz]についての説明)

種類	説明
rygbcz	表示灯の点灯/点滅, ブザーの消音/吹鳴
r	0:赤色の消灯,1:点灯,2:点滅,9:変化せず
y	0:黄色の消灯,1:点灯,2:点滅,9:変化せず
g	0:緑色の消灯,1:点灯,2:点滅,9:変化せず
b	0:青色の消灯,1:点灯,2:点滅,9:変化せず
c	0:白色の消灯,1:点灯,2:点滅,9:変化せず
z	0:ブザーの消音,1:吹鳴パターンその 1,2: 吹鳴パターンその 2,9:変化せず
秒数	指定秒数後(0-99)に表示灯とブザーをコマンド実行前の状態に戻す。

(但し、秒数が、0 あるいは指定されない場合は、コマンド実行前の状態に戻さない。)

(例 1 : RSH 192.168.10.1 -l root alert 199999→赤色点灯、他は変更なし)

(例 2 : RSH 192.168.10.1 -l root alert 991999 30→緑色点灯後、30 秒後に実行前の状態に戻る。他は変更なし)

(11)設定が終わったら、「保存」ボタンをクリックします。

(12)設定した「通知プロファイル」を監視対象装置に関連付ける。(これ以降の設定方法は、OpManager の操作マニュアル「スタートアップガイド」をご参照ください。)

【その他検証済み機種】

NHC-3FB

Signal Tower NHE-3FB 型

Signal Tower NHM-3FB 型

*基本的に RSH サーバ機能をサポートする機種は、上記手順にて連携できます。

以上